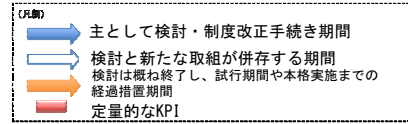
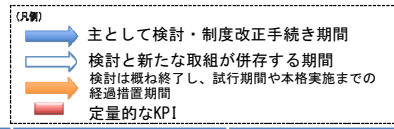


# 名古屋大学 指定国立大学法人構想工程表①



# 名古屋大学 指定国立大学法人構想工程表②



	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度～
--	--------	--------	--------	--------	--------	---------

## 《知識基盤社会をリードする卓越した博士人材の育成》

**4**  
 ◇博士課程教育の高度化と質保証に向けた全学的プラットフォームの形成【TK30-②・TK31-①】  
 (博士課程教育リーディングプログラムの成果の継承・定着に向けた検討) (博士人材育成に関する実態調査、施策に関するロードマップの作成等) (総合的かつ体系的な大学院共通カリキュラム、大学院教育プログラム実施における支援の検討等)  
 ・博士課程教育推進機構の設置  
 (次期総長就任) (第4期～)  
 ・全学的な教学マネジメントの確立等

**5**  
 ◇卓越大学院プログラムの実施【TK30-②】  
 (検討委員会等において申請プログラムを精査) (採択されたプログラムの実施準備等)  
 ・卓越大学院プログラムの実施①  
 ・卓越大学院プログラムの実施②  
 ・卓越大学院プログラムの実施③

**6**  
 ◇ジョイント・ディグリー(JD)プログラムの拡大【TK30-②・TK42-②】  
 ・ルンド大(4月)とのJD設置  
 ・カセサート大(4月)、フライブルク大(10月)とのJDの設置  
 ・西オーストラリア大(4月)、ウォリック大(10月)とのJDの設置  
 2027年度までに20ユニット設置

**7**  
 ◇基金を活用した奨学金【TK32-②】  
 (博士後期学生支援を目的とした特定基金の創設を検討)  
 ・特定基金の創設 (寄附募集活動)  
 ・奨学金支援の実施(前倒しの可能性あり)

## 《世界から人が集まる国際的なキャンパスと海外展開》

**8-1**  
 ◇留学生の受入の拡大  
 ・大学院授業の英語化【TK30-③】  
 (授業の英語化のためのガイドラインの作成、FD、英語化する授業の洗い出し等)  
 ・授業の英語化の拡充  
 2027年度までに大学院授業の50%を英語化

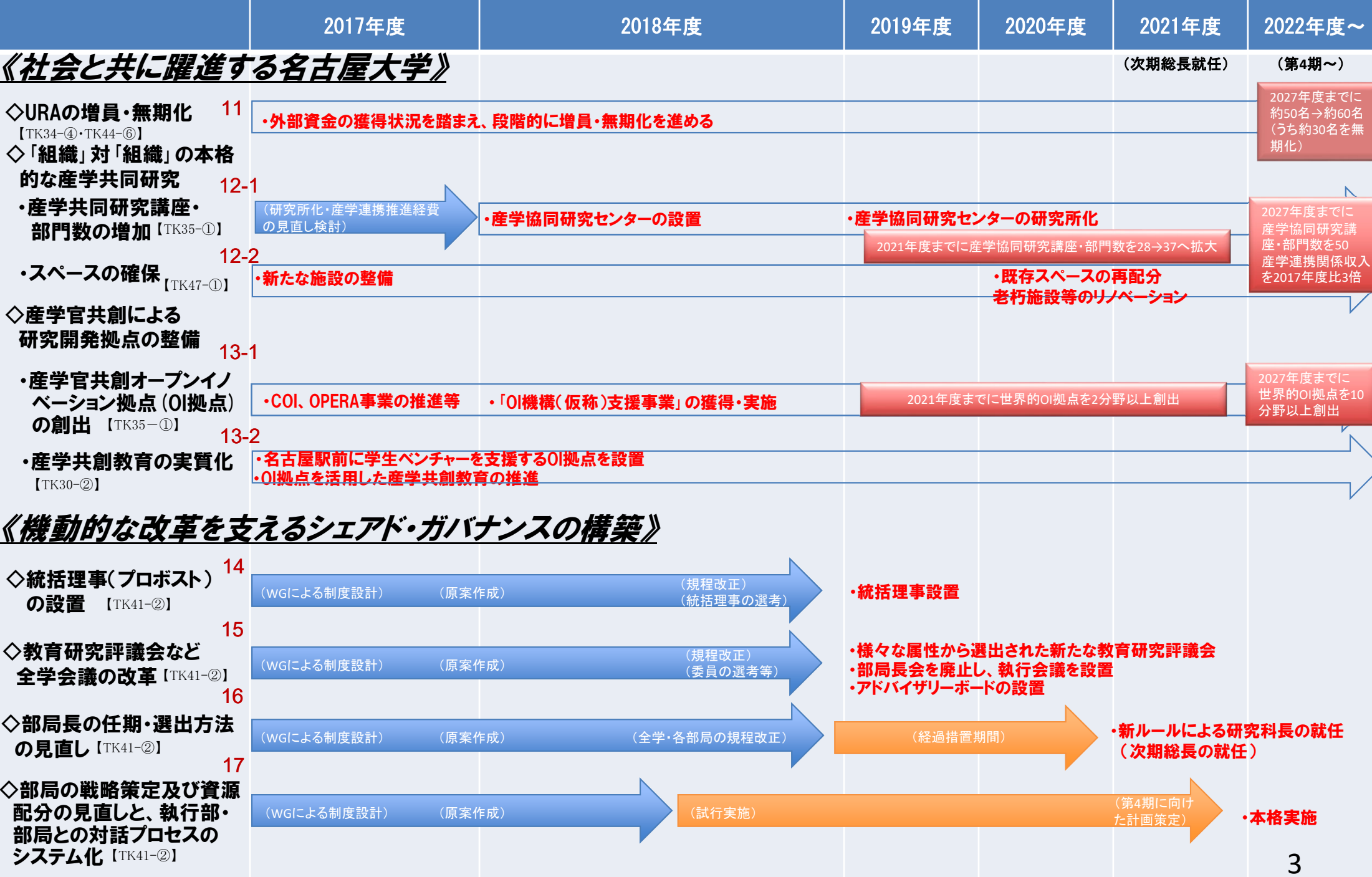
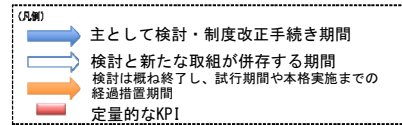
**8-2**  
 ・留学生宿舍の新設【TK32-③】  
 (宿舍整備の検討)  
 ・(2019までに)混住型宿舍の整備

**9-1**  
 ◇日本人学生の海外留学促進  
 ・日本人学生の語学力の向上【TK30-①・TK31-①】  
 英語カリキュラムの再構築  
 ・実施結果のフィードバック・プログラム改善  
 ・英語力向上カリキュラムの実施

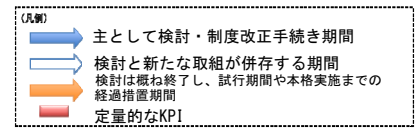
**9-2**  
 ・海外留学・研修の促進【TK31-②・TK32-①・TK36-①】  
 ・日本人学生の海外留学事業の拡大(留学積立金事業の拡大・留学説明会の充実化・海外渡航安全、危機管理教育の充実化)  
 2027年度までに70%の学生が海外留学・研修を経験

**10**  
 ◇アジア共創教育研究機構の活動推進【TK36-②】  
 ・学術交流の促進  
 ・国際会議等の開催 等  
 ・公開セミナーの開催  
 ・参加部局の拡大 等

# 名古屋大学 指定国立大学法人構想工程表③



# 名古屋大学 指定国立大学法人構想工程表④



	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度～
◇ <b>教員選考方法の見直し</b> 18 【TK41-②】	(WGによる制度設計)	(原案作成)	(規程改正)		(次期総長就任)	(第4期～)
	→			・全学的視点による開かれた教員選考の実施		
◇ <b>IRの高度化</b> 19 【TK41-②】	(ファクトシート作成から執行部への提言までのフローの安定化) (財務データと非財務データを活用した分析手法の検討)			・IR情報に基づく提言、 施策立案の定着	・ベンチマーク手法の確立 ・管理会計的手法による 分析手法の確立	
◇ <b>男女共同参画と女性登用の推進</b> 20 【TK41-③】	・女性研究者の採用、家庭との両立、復職支援、研究力向上、リーダー育成等の各種取組の実施 ・戦略的な募金活動			女性教員 比率:20%		2027年度までに女性教員 比率:30%
◇ <b>ユニバーシティ・デザイン・ワークショップによる大学経営人材育成</b> 21 【TK41-②】	(WGによる制度設計)	(原案作成)	(選定基準に基づき 候補者の選考)	(試行実施)	・本格実施	
<b>《経営資源の好循環による財務基盤の強化》</b>						
◇ <b>ファンドレイジングの機能強化</b> 22 【TK44-⑦】	・Development Officeの設置 ・基金戦略会議の設置 等				基金100億円	
◇ <b>財源の多様化</b> 23 【TK44-⑦】	・財務戦略室の設置 ・デジタルサイネージによる収益事業の開始 ・クラウドファンディングの導入 ・業務上の余裕金の運用に関する規程整備 等	・不動産を利用した収益事業に関する文科大臣承認の取得 ・クラウドファンディングの実施 ・余裕資金の運用開始 ・株式による運用方法の構築 等	・不動産を利用した収益事業の実施 ・宿舎等の集約・効率化 等			・子会社の設立
◇ <b>部局の自己収入に対するインセンティブ制度の導入</b> 24 【TK44-⑦】	(制度の検討)	(部局における収入目標額の検討・設定)	(規程整備)	・制度運用開始		

# 名古屋大学 指定国立大学法人構想工程表⑤

(注)  
 主として検討・制度改正手続き期間  
 検討と新たな取組が併存する期間  
 検討は概ね終了し、試行期間や本格実施までの経過措置期間  
 定量的なKPI

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度～
					(次期総長就任)	(第4期～)
25 ◇エフォート率を見える化し 評価に見合った処遇制度 を構築【TK41-④】	(WGIによる検討)		(原案作成)	(規程整備)	(試行実施)	・本格実施
26 ◇ポイント制の導入・ 教員給与の一部 外部資金化【TK41-④】	(全学へ再提案)	(制度の詳細を検討)	(規程整備)			・制度運用開始
27 ◇全学技術センターの サービス機能の強化 【K44-⑧】	(新たなサービスに関する検討・データベースの整備等)		(規程整備)	(試行実施)		・本格実施
28 ◇大学戦略に基づく スペースマネジメント 【TK47-②】	(実態調査、WGIによる講義室等の有効活用等に関する検討 等)					・総長裁量スペースの拡充 ・大学機能強化に資する分野への優先配分 ・講義室のあり方について継続的な見直し
<b>《新たなマルチ・キャンパスシステムの樹立による持続的発展》</b>						
29 ◇東海国立大学機構(仮称) の構築 (一法人複数大学の実現) 【TK49-①】	(関係大学による協議)	(骨子案策定)	(詳細について検討を進める)			・国の制度改正の状況を踏まえつつ、東海国立大学 機構(仮称)を設置
30 ◇機構の基盤構築に向けた 大学連携の推進 【TK49-②】						・教育、研究、国際、産学連携、基盤整備など様々な分野で組織どうしの連携について協議を進め、可能な取組から順次実施